



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 177

平成23年6月24日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230



第36回臨床家フォーラム

継続は力
フォーラムに集い更なる団結と
飛躍を

会期:平成23年8月27日(土)・28日(日)
会場:ホテルメトロポリタン高崎(高崎市)

- プログラム -

- 8月27日(土) 受付 14:00 開会 15:00
公開講座 I 東日本大震災にみる命の分岐点
講師 片田敏孝(群馬大学広域首都圏防災研究センター長・教授)
講演 I 富岡製糸場の歴史と文化
講師 今井幹夫(富岡製糸場総合研究センター所長)
講演 II がんの重粒子線治療と緊急被ばく医療
講師 中野隆史(群馬大学重粒子線医学研究センター長・腫瘍放射線学分野教授)

懇親会 18:30~

- 8月28日(日) 分科会 9:00~12:00
1-1 鼻炎(鼻閉)・いびき・睡眠時無呼吸症候群の治療
1-2 臨床に役立つ鼻出血の止血
1-3 小児気管支喘息の発症・予防における最近の話題
2-1 耳管開放症症例と耳管疾患の問題点について
2-2 新しいめまいの診断と治療
2-3 耳鼻咽喉科領域の漢方療法
*バスター 28日(日)12:30~16:30 @3000円
Aコース 富岡製糸場見学
Bコース 群馬大学重粒子線医学研究センター見学

「群馬フォーラム2011」のお誘い

第36回臨床家フォーラム実行委員長 多賀谷泰弘

本年、平成23年度の耳鼻咽喉科医学会臨床家フォーラムは第36回を数え、群馬県耳鼻咽喉科医学会の担当で行われます。医療を取り巻く情勢は毎年厳しいものになってきていて、昨年の第35回フォーラムは東京都が緊縮予算の中で立派に開催されました。今年の群馬フォーラムにおきましても、同じような流れをもって地方で開催していけることを目標にしました。講演を出来る限り群馬県内の先生にお願い出来る内容で企画し、公開講座も設けました。さらに、土曜日の午後も診療されている若い先生方が分科会に参加しやすくする目的で、従来の日程を覆し土曜日に全体集会、日曜日に分科会を行う新しい試みをしてみます。

群馬県耳鼻咽喉科医学会の役員並びに実行委員会メンバー総勢28人で準備を進めてまいりました。心をこめて皆様方におもてなしをさせていただきます。どうぞ高崎において頂けますようこころよりお待ちしております。

未成年の虫垂・扁桃摘出術は、早期のAMI(急性心筋梗塞)発症に関連

追跡期間20年超のスウェーデン・大規模コホート研究

粘膜関連リンパ組織(MALT)を除去する虫垂摘出術や扁桃摘出術を受けた場合、長期の健康リスクに影響を与える可能性が指摘されている。スウェーデン・カロリンスカ大学病院のImre Janszky氏らは、大規模コホート研究で未成年者に手術を受けた患者を登録し、平均23.5年間追跡。虫垂摘出術で3割強、扁桃摘出術で4割強、早期の急性心筋梗塞(AMI)が増加していたと報告した。

Janszky氏らは、1955~70年生まれのすべてのスウェーデン在住者における前向きマッチドコホート研究を実施。全虫垂摘出術、扁桃摘出術を特定し、1症例について、性、年齢、地方が一致した5人の対照を選び、それぞれを2003年まで平均

23.5年間追跡した。

その結果、20歳未満に手術を受け、追跡中にAMIを発症したのは、虫垂摘出群で89人(平均年齢:男女ともに37.9歳)、扁桃摘出群で47人(男性38.8歳、女性38.7歳)だった。対照群と比べたハザード比(HR)は、虫垂摘出群で1.33(95%CI 1.05~1.70)、扁桃摘出群で1.44(同1.04~2.01)と有意なリスク上昇が認められた。

同氏らによると、虫垂、扁桃の働きは10~20歳で顕著で、その後減退する。今回の研究結果は、MALTの摘出による免疫機能のわずかな早期の変化がアテローム性動脈硬化のリスクを上昇させ、後のCVDを増加させるという仮説と一致するが、そのメカニズムについてさらなる研究が必要としている。

(Eur Heart J 2011年6月1日オンライン版)

保険医取り消し二審も違法

国側の酵素を棄却 対面での診察をせずに診療報酬を請求したことを理由に保険医登録などを取り消された甲府市の小児科医院の院長が、国の処分取り消しを求めた訴訟の控訴審判決で、東京高裁は5月31日、請求を認め一審交付地裁判決を支持、国側の控訴を棄却した。

裁判長は「保険医登録取り消しなどは事実上、医療機関の廃止を意味する極めて重大な不利益処分。動機や事情を考慮しなければならないと指摘。院長の行為を「保健診療上は許されないが、患者のための行為だった」と判断して、「処分は社会通念上、著しく妥当性を欠き、裁量権を逸脱し違法」とした。判決によると、院長は患者本人ではなく家族に病状を聞いて薬を処方するなどして診療報酬を不正請求したとして、2005年11月山梨社会保険事務局(現関東信越厚生局山梨事務所)から保険医療期間指定と保険医の登録取消処分を受けた。

厚労省保険局は「厳しい判決と受け止めている。内容を精査の上、今後の対応を決めたい」としている。(J.M.6月3日)

astellas
経口用セフェム系製剤 薬価基準記載
日本薬局方 セフジニルカプセル、セフジニル細粒
CFDN セフゾン® 細粒小児用10% 50mg 100mg
Cefzon®
■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。
製造販売 アステラス製薬株式会社
東京都板橋区蓮根3-17-1
[資料請求先] 本社/東京都中央区日本橋本町2-3-11